



平成30年度 麻生区ボランティアのつどい(交流会) 報告

主催 麻生区社会福祉協議会ボランティア活動振興センター
共催 田園調布学園大学地域交流センター
協力 あさおボランティア・当事者連絡会

平成31年2月13日(水)に麻生区ボランティアのつどい(交流会)を開催しました。今回は「ボランティアで麻生区を輝かせよう!~ボランティアでできること~」をテーマに、42名の方にご参加いただきました。ボランティアに関わるいろんな課題から、もっとこうしていきたい!というビジョンまで、たくさんの意見が出され、今後に繋がる機会となりました。

麻生区ボランティアのつどい(交流会)は、ボランティア同士の交流や、多様なボランティア活動を知ることを通じて、地域のボランティアネットワークを広げるとともに、ボランティアを受け入れている福祉関係団体にも参加していただき、ボランティアの輪を広げていくことを目的に、毎年開催しています。

麻生区社会福祉協議会ボランティア活動振興センター主催、田園調布学園大学地域交流センター、あさおボランティア・当事者連絡会とともに、麻生区のボランティア活動を牽引する機関と協働で実施しています。



交流会の前半では、「ボランティアから見えるニーズ」として、麻生区ボランティア活動振興センター運営委員会の

石井栄子副委員長をコーディネーターに、運営委員が関わる活動や、学生の視点から、いろんなニーズ(課題)を投げかけました。もっとこんなボランティアや場所があったらいいな...ということや、グループのリーダーがメンバーに対して感じていることなどもありました。

前半のまとめを運営委員でもある田園調布学園大学地域交流センターの和秀俊教授から、課題の解決のみならず、楽しい活動に向けてのお話をいただきました。

後半ではグループに分かれて、ボランティアに関わるニーズについて活発に意見交換が行われました。

「ボランティアは特別なことではなく、日常生活の延長線上にあるもの。『生きる』そのもの。」「活動に参加することで、その人の強みを引き出せたり、また自分の強みに気づけた。これはボランティア活動だからこそ。」「集える場が必要。」「もっと空き家を活用できないか。」「学校や社会で学べないことをボランティアで学ぶことができる。」「いろんな人にボランティア参加してほしい。」など、大変盛り上がりあつという間に時間が経ってしまいました。

麻生区のボランティアネットワークが広がり、より暮らしやすい麻生区を目指して、麻生区ボランティア活動振興センターは活動していきます。



当日の様子

